

1 答申について

※「戸田市自治基本条例について（諮問）」参照

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を経験した私たちが、社会状況の変化に対応しながら、どのようにまちづくりの担い手としての市民参加を促進していくか、検討してください。

前回の会議にて、皆様からいただいた意見を整理し、具体性のある内容で市長への答申としたい。

皆様の意見を下記の4つに分類し、それぞれ実現可能な提案を検討していくのはどうか。

《答申の骨子》

●【現状】

- ・コロナによる空白の2年をどう戻していくか。コロナでイベント参加数やイベント規模の縮小など、存続できるか心配である。
- ・コロナで時間の使い方の変化により、新たな担い手も出てきている。何かしたい！と思う人に支援がどこまでできるかが重要である。

●【市民参加を促すにはどうすればいいか】

①情報の発信と管理～自治基本条例の理念の普及啓発、事例発掘とアーカイブ化（記録）～

市民一人一人が担い手であるという自覚を持ってもらう

- ・若い世代へのアプローチ手法として SNS や Twitter での情報発信
- ・LINE を活用したクイズ形式での投票やアンケートを実施するなど
- ・カードゲームを取り入れたシミュレーションの活用
- ・参加対象はみんな（子供や外国人も対象）であるという理解を広げるため、子どもの企画によるイベント開催など
- ・リーフレットの活用で興味のある人の足掛かりに

協働の事例の共有

- ・市民団体への意見聴取、活動など
- ・Zoom 研究会『Zoom de まちづくり』で事例共有

②課題の見える化 ～戸田市の実情の把握～

戸田市の課題の見える化をする → 「委員会」による調査・研究

- ・制度、補助金の見直し＝税金の使い方の見直し
- ・補助金メニュー作り

委員会として現行の制度やあり方について検証し、課題を「見える化」する事も協働を推進する事につながるのではないか。

③つながる「場」 ～課題共有の「機会」～

課題を抱える人が参加できる相談・協議の場

- ・気軽に声を掛けられる場の提供
- ・オンラインを活用した場を作る。
- ・既に TOMATO で行っている相談支援の周知
- ・Zoom 研究会『Zoom de まちづくり』で事例共有

④つながる「場」 ～協働の「機会」～

応答する人が参加・参画できる機会の提供

- ・自治基本条例と個別法との整合性の検討
- ・市役所と民間企業との連携、ネットワークを広げる。
- ・ICT を活用し、市民の意見がすぐ届くような体系づくり
- ・パブリック・コメントの条例案作り、市民参加すべき審議会について提案
- ・市民参加の段階を認定していくなどの仕組みをつくる。

参加者へのインセンティブ

- ・参加者への報奨制度（戸田オールなど）の検討
- ・参加者への LINE スタンプ提供

2 その他

(1) 啓発活動について

『とだ環境フェア2022』における啓発活動について（報告）

開催日時：令和4年11月6日（日）10時～14時頃

開催場所：上戸田地域交流センターあいパル

（1階広場、多目的室）

参加者：委員長、副委員長、小野塚委員、木本委員、事務局2名

配布物：エコバック、マンガパンフレット、イラスト説明

→300セットを用意し、すべて配布した。

内 容：受付横にて来場者に上記の配布を行い、自治基本条例の周知を行った。来場者は子どもから高齢の方まで幅広かった。環境団体の活動を伝える趣旨のイベントであり、活動団体の方の話も聞くことが出来た。リスのイラストが好評だった。



『第7回さくらパル祭り』における啓発活動について（予定）

開催日時：令和5年3月25日（土）10時～15時

開催場所：戸田市新曽南3-1-5（新曽南庁舎1階、2階）

新曽南多世代交流館（さくらパル）

概 要：「多世代・多様な文化をもった市民交流、仲間づくりができる施設」という施設コンセプトに合わせ、体験ワークショップや昔遊び体験、駄菓子販売、サークル活動発表会、などを開催する。同建物内にある戸田市国際交流協会（TIFA）や戸田市新曽地区地域包括支援センターなどもブースにて、活動内容の紹介やフォトコンテストなどを実施する。

昨年度は新型コロナウイルスの影響により、規模を縮小して3日間に分けて行ったが、今年度は1日のみとし、規模を拡大する。

内 容：2階にて、自治基本条例の普及啓発を行う。

配布物は、前回と同様。（出来ればリーフレットの配布も行いたい。）

→希望があれば、イベントブースでの活動も可能である。

その場合は、どのような内容を行うか、検討と準備が必要となる。

塗り絵やクイズなど、子どもが楽しめるような内容や、パネル展示など

(2) リーフレットについて

目的：公共施設の情報ラックや窓口に設置し、「まちづくり」はとても身近で気軽に参加できるものであることを記載し、まちづくりへの参加を促しながら、自治基本条例の理念の普及啓発を目指す。



内容：リスのイラストを活用した戸田流のリーフレットの作成

ワーキングメンバー：岩本副委員長、小野塚委員、矢澤委員、木本委員、
細井委員（第三期委員）、長尾委員

作成スケジュール：令和4年11月14日 第1回ワーキング会議

12月19日 第2回ワーキング会議

12月下旬～ リーフレット案の確認

①ワーキングメンバーにて確認、修正

②庁内の担当部署に説明、確認、修正

令和5年 1月17日 第4回委員会にて完成案を提示

令和5年 1月末 庁内の担当部署に確認依頼

令和5年 2月中旬 業者に印刷依頼

令和5年 3月末 完成品を公共施設に配布

❁ワーキンググループでの意見（抜粋）❁

- ・対象者は限定せず、広く市民をターゲットにする。
- ・思わず欲しくなり、取っておきたいリーフレットにする。
- ・知りたい情報がすぐ分かり、行動につながるように、QRコードを入れる。
- ・デザインも文章やタイトルの表現も、やわらかく分かりやすくしたい。
- ・公共施設のラックに設置した際に、見えやすく、マンガパンフレットと同じ場所となると、A3二つ折りでは重なってしまう、A4三つ折りだと入れたい内容が納まらない。
→ B4二つ折りに決定(カバンにも入れやすい大きさである)
- ・どのような活動が市民活動、まちづくりに参加しているということなのかを段階的に具体的に載せる。(まずは1人でやってみる、次は参加、次は参画・・・というように)
- ・自治基本条例の4原則と、三者協働について絵を利用して簡単にわかるようにする。



(3) Zoom を利用した研究会「Zoom de まちづくり」について

戸田市内の団体活動の現状や課題について、より理解を深めることを目的とし、任意参加による研究会を委員会の開催月以外で今後も継続予定

「第一回 Zoom de まちづくり」※詳細は会議録を参照

開催日：令和4年12月15日（木）

開催時間：19時～20時過ぎ

参加者：10名（委員8名＋事務局2名）

内容：小野塚委員が発題者となり、現状の市民団体活動の説明と課題などをお話いただいた。

その後、感想や質問、提案などを参加者がそれぞれ行った。

初めての試みで慣れない部分もあったが、それぞれが発言し、市民団体活動のことをより知ることができた。松下委員のスムーズな進行もあり、参加者が興味を持ち、とても和やかなムードとなった。

町会、子ども会、老人会などとボランティア団体の協力やマッチングが出来ないかとの話も出てきた。

事務連絡 次回 第5回推進委員会

開催予定日時 令和5年4月下旬 午後7時～

メ 七

